



人の輪と集落の和

平成20年度事業報告書 平成21年度事業計画書



目 次

○ ごあいさつ	1
○ 第10回通常総会次第	2
○ 第10回通常総会提出議案	3
○ 平成20年度事業報告書	
部門別事業報告	4～17
貸借対照表	18
損益計算書	19～21
平成20年度剰余金処分案	22
付属明細書	23～24
監査報告書	25
○ 平成21年度事業計画書	26～34
○ 役員改選について	35
○ 組織図	36

組合員のみなさまへ

本日ここに第10回の通常総会を開催するにあたり一言御礼申し上げます。任期3年を無事全うすることができましたのは、組合員の皆様はもとより関係各位のご支援のたまものと深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成20年度事業を振り返りますと、第四次3ヶ年計画の初年度として「生きていく」新たなスタートを切ったものの、世界的な食料不足がそこに見えているにもかかわらず我が国の農業情勢は好転せず、更に追い討ちをかけるような肥料・農薬・燃油の高騰。組合としては度重なる経営会議の結果、異常事態であり生産物価格に転嫁出来ずとの判断から、策として徹底した農政施策の研究による政策上の付加価値で勝負と決め、不本意ではありましたが事業面ではイーブン、事業外収入にて組合員の皆様に諸配当が可となりました。まさに昨年度は机百姓でした。

さて、3ヶ年計画の基本テーマは「農業」と「環境」です。当組合では、早くから環境こだわり農産物に取り組み、事業活動すべてを環境に配慮してきました。また、酒人田園環境愛護会も地域ぐるみで、草刈り、農道補修、啓発看板設置など農地を守るための支援をしていただいています。また、耕畜連携による堆肥施用は、土壌中の炭素貯留量を増やすことに有効で、地球温暖化対策にプラスとなっています。

「フードマイレージ」とは、食料の輸送距離の意味で、重量(t)×距離(km)で表記されます。日本の数値は、群を抜いて高く、それだけ環境に負荷をかけているのです。地球環境のためには、食料自給率を上げ輸入量を減らすこと、地産地消で輸送距離を縮めることを実践していく必要があります。生産者として、地元の人に喜んでもらえ、食べたいと思ってもらえる食料を提供していく責任があります。また、消費者としても、責任ある消費行動が求められます。

当組合が発足して10年ですが、これからは今までの成功体験は通用しません。過去の栄光と決別し、新たな挑戦を続けなければなりません。何をしたらより、何をすることが重要です。これからの10年が本当の正念場といえます。

地域の食を支え、集落農業を担っている誇りと安全・安心な農産物の提供という供給者としての使命感をもち、新たな課題に挑戦してまいります。

平成21年3月1日

人は、人の為に成らずして、人にあらず

農事組合法人 酒人ふあ〜む

代表理事

東浦常夫

第10回通常総会次第

と き：平成21年3月1日（日）
午後1時30分より
ところ：酒人公民館 2階大広間

1. 開会のことば
2. 代表理事あいさつ
3. 来賓ご祝辞

（ 休 憩 ）

4. 総会成立宣言
5. 議長の選任
6. 書記の指名
7. 議事
8. 役員選任
9. 閉会のことば

議長氏名	
------	--

議事録署名人	議長および出席理事
--------	-----------

組合員数	56人	出席人数	人
------	-----	------	---

第10回通常総会提出議案

第1号議案 平成20年度事業報告について
平成19年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、
剰余金処分案及び附属明細書の承認について
P 4～P 25

第2号議案 平成21年度事業計画の承認について
P 26～P 34

第3号議案 任期満了にともなう役員改選について
P 35

附帯決議 この総会において決議した事項のうち、行政庁に提出する書類で補正・変更を必要とする場合は、その趣旨に反しない範囲内において、その変更を理事会に一任する。

以上のとおり上程いたします。

平成21年3月1日

農事組合法人 酒人ふぁ～む
代表理事 東浦 常夫

平成20年度事業報告書

部門別事業報告

生産部

[栽培]

20年度を振り返ると、ギョーザ事件、事故米等食品汚染や偽装事件が次々と発覚した年でありました。我が集落においては、食を担う生産者として信頼される栽培管理に勤め、麦を除く作物については、減農薬・減化学肥料の環境こだわり農産物に取り組み、あわせて全ての作物において的確な栽培管理による増収・増益とコスト低減を目指しました。

生産物別に報告しますと、水稻については、それぞれの生産数量と施設稼働容量に応じた品種の作付体系を組み、的確な栽培技術により「売る」ための「美味しい米」づくりを目指し取り組みました。残念なのは一部の圃場において減農薬がゆえに雑草との競合による収量低下を招いたことです。また、隔年毎の堆肥投入により地力増進を図っているものの、減化学肥料での栽培技術がともなわず収量下落となったことは今後の大きな課題です。品質的には、一部の品種において乳白及び胴割れを見ましたが、概ね上位等級で終わりました。

米価低迷による収入の減少を支えようと取り組んでいる稲わら供給事業は、今年は計画通りの結果をと意気込みましたが、収集期の天候不順による品質低下を招き、収集したものの販売には至らず計画比13%の実績に終わり大いに反省すべき点です。

麦については、湿潤被害や赤カビ病の発生も少なく、順調に作業を終えることが出来ました。天候と暗渠が功を成したのか昨年に続く収量を得ることができました。ただ、過去の酒人の収量と品質を考えるとまだまだと思う感があり今後の課題として受け止めなければなりません。

大豆については、県下の狭畦密播栽培が増え種子の需要が多く、「種子大豆」を基軸とした栽培を行いました。一般大豆においては全て狭畦密播栽培を取り入れ、中耕培土を省略し作業効率の向上に努めました。一部こだわり栽培の影響による雑草との競合があり計画数量には至りませんでした。付加価値を求めた取り組みから、選別についてはすこやか営農グループの皆様到最后の磨きをかけていただき、明日の大豆栽培への大きな力になっていただいていることを申し添えます。



野菜については、両グループとも、培った技量を生かし巧みな取り組みをしていただきましたが、露地においては天候不順と排水不良により思うような収穫量が得られず、野菜全体において計画を大きく下回る結果となりました。ただ、野菜の栽培が今日の現金収入として酒人ふぁ〜むを支えていることは事実です。

①穀類生産実績

水 稲	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
うるち玄米	1,322	71,400	1,190	9.0	1,409	69,876	1,165	8.3
もち(羽二重)玄米	596	32,160	536	9.0	605	26,250	438	7.2
合 計	1,918	103,560	1,726	9.0	2,014	96,126	1,602	8.0

小 麦	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
農林61号	1,770	42,600	710	4.0	1,863	55,417	924	5.0
合 計	1,770	42,600	710	4.0	1,863	55,417	924	5.0

大 豆	計 画				実 績				
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量			
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反	
ふくゆたか	種子用	820	14,760	246	3.0	1,112	17,820	297	2.7
	食糧用	950	19,920	332	3.5	776	12,382	206	2.7
合 計		1,770	34,680	578	3.3	1,888	30,202	503	2.7

②野菜栽培形態別生産実績 (年間)

露 地	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	箱・kg	箱kg/反		収量 (kg)	箱・kg	箱kg/反
ブロッコリー	130	9,750	1,950箱	150箱	108	3,595	677箱 393袋	63箱
白 菜	15	6,750	450箱	300箱	26	4,300	287箱 301個	110箱
キャベツ	15	3,750	375箱	250箱	0	0	箱	-
えびす南瓜	50	7,000	700箱	140箱	33	700	65箱 45個	20箱
いちじく	24		500パック				箱	-

ハ ウ ス	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	袋・箱	袋箱/a		収量 (kg)	袋・箱	袋箱/a
小 松 菜	20.3	2,400	12,000袋	591袋	20.0	1,960	9,800袋	490袋
ほうれん草	1.8	270	1,350袋	750袋	0.0	5	23袋	-
サニーレタス	14.6	2,190	8,760袋	600袋	4.0	535	2,141袋	535袋
ト マ ト	4.0	1,600	400箱	100箱	4.0	1,244	155箱 636袋	39箱
そ の 他					2.0	-	174本	-

③耕畜連携稲わら生産実績（JA稲わら生産供給組合）

稲わら	計 画				実 績			
	採集 面積 (a)	生産量			採集 面積 (a)	生産量		
		収集量 (kg)	梱包 (10 kg)	梱包/反		収集量 (kg)	梱包 (10 kg)	梱包/反
飼料用稲わら	1,200	48,000	4,800	40	150	5,340	534	35.6
合 計	1,200	48,000	4,800	40	150	5,340	534	35.6

[労 務]

役員・オペレーターグループは別として、組織構成員の年齢上昇に伴い、それぞれのグループに、少し歪みを起こしつつあります。いよいよ労務体制の見直しの時かとも思えますが、「少数が精鋭を生む」との言葉どおりの一年間でした。

本年度も、このような苦しい中で労働時間の縮減に取り組み、なかでもすこやかグループ、なごやかグループの皆様には汗をかいていただきました。その汗と意気に応えるべく、歯を食いしばって戦った結果が下表の通りです。

労務管理実績表

(単位：時間)

	計画	実 績					計画比 (%)
		役員・OP	すこやかG	なごやかG	その他	合計	
穀類	水 稲 (7品種)	3,100	2,787	426	30	3,242	104.6%
	稲わら生産収集	500	86	14		99	19.8%
	小 麦 (農林61号)	710	622	69		690	97.2%
	大 豆 (種子・一般食糧)	3,180	813	2,708		3,521	110.7%
	計	7,490	4,307	3,216	30	7,552	100.8%
野菜	露 地 (5品種)	3,150	242	1,140		1,382	43.9%
	ハ ウ ス (3品種)	2,560	166	187	1,643	1,995	77.9%
	計	5,710	408	1,327	1,643	3,377	59.1%
共 通 (営業・事務・機械施設管理)	1,800	1,850	40		1,890	105.0%	
合 計	15,000	6,564	4,583	1,673	12,819	85.5%	

営 業 部

わが部が独立して早3年、あれもこれも、あそこもここも、これを作ってあつちのお客様へ、気がはやるばかりで結局これといった成果を残すことができずに終わってしまいました。地元消費者へのアピールの必要性和集落営農組織の営業とは、まず食農・食育推進が重要なポイントであると感じました。

①穀類市場（マーケット）別実績

水 稻		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	うるち玄米	590.0	12,500	7,375	624.5	12,570	7,850	106%
	もち(羽二重)玄米	516.0	15,000	7,740	428.5	15,643	6,703	87%
	過年度精算	-	-	-	-	-	3,385	-
	小 計	1,106.0	13,670	15,115	1,053.0	17,035	17,938	118%
直 販	うるち玄米	600.0	16,000	9,900	540.0	16,500	8,910	90%
	もち(羽二重)玄米	20.0	20,000	400	9.0	20,400	183	45%
	小 計	620.0	16,610	10,300	549.0	16,560	9,093	88%
合 計		1,726.0	14,720	25,415	1,602.0	16,870	27,031	106%

(実績については、くず米の収入及び過年度の精算見込みを含んでいます。)

小 麦 農林61号	計 画			実 績			
	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	708.0	2,300	1,628	924.0	958	885	54%
過年度精算	-	-	-	-	-	114	-
直 販	-	-	-	-	-	-	-
合 計	708.0	2,300	1,628	924.0	1,081	999	61%

(実績については、くず麦の収入及び過年度の精算見込みを含んでいます。)

大 豆 ふくゆたか	計 画			実 績				
	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)	
業 販	種 子 用	246.0	27,000	6,642	285.0	25,354	7,226	108%
	食 糧 用	333.0	5,900	1,965	206.0	2,694	555	28%
	過年度精算	-	-	-	-	-	861	-
	小 計	579.0	14,870	8,607	491.0	17,600	8,642	100%
直 販	種 子 用	-	-	-	-	-	-	-%
	食 糧 用	-	-	-	-	-	-	-%
	小 計	-	-	-	-	-	-	-%
合 計		579.0	14,870	8,607	491.0	17,600	8,642	100%

(実績については、くず大豆の収入及び過年度の精算見込みを含んでいます。)

②野菜栽培形態別販売実績

野菜	計 画			実 績				
	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	対比 (%)	
露地	ブロッコリー	1,950箱	1,350	2,632	719箱	1,210	873	33%
	白菜	450箱	650	293	286箱	800	229	78%
	キャベツ	375箱	400	150	0箱	0	0	0%
	えびす南瓜	700箱	1,000	700	70箱	1,210	85	12%
	いちじく	500パック	400	200	0	0	0	0%
小計	—	—	3,975	—	—	1,187	30%	
ハウス	小松菜	12,000袋	70	840	9,803袋	80	753	89%
	ほうれん草	1,350袋	100	135	23袋	—	2	-%
	サニーレタス	8,760袋	70	613	2,141袋	74	159	26%
	トマト	400箱	1,050	420	250箱	1,780	447	106%
	その他野菜	—	—	—	—袋	—	64	-%
小計	—	—	2,008	—	—	1,425	71%	
合計	—	—	5,983	—	—	2,612	43.6%	

野菜市場（マーケット）別販売実績

品 目	業 販				直 販				合 計	
	大津・京都市場出荷		水口地方卸売市場		花野果市JA直売所		イベント・直売		数量 (—)	販売高 (千円)
	数量 (束、箱)	販売高 (千円)	数量 (束、箱)	販売高 (千円)	数量 (束、箱)	販売高 (千円)	数量 (束、箱)	販売高 (千円)		
ブロッコリー	677	820	—	—	393	53	—	—	719	873
白菜	287	229	—	—	—	—	—	—	286	229
キャベツ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
南瓜	65	80	—	—	45	5	—	—	70	85
小松菜	8,756	638	40	4	1,007	111	—	—	9,803	753
サニーレタス	1150	104	—	—	581	55	—	—	2,141	159
トマト	11	13	144	235	636	169	—	30	250	447
みずな他	385	23	30	2	255	27	—	14	—	66
合計	—	1,907	—	241	—	420	—	14	—	2,612

※ 業販=JA・市場等への業者を通じた販売(学校給食含む)、

※ 直販=直売所、ネット等を通じた直接販売

③耕畜連携稲わら販売実績（JA甲賀郡稲わら生産供給組合）

稲わら	業 販	出 荷 量 (梱包)		出荷単価 (円/梱)	販売高 (円)
		配 達	引 取		
	飼料用稲わら	534	—	380	202,923
		—	—	—	—
	合 計	534	—	380	202,923
	JA稲わら生産供給組合必要経費				190,639
	差引売上合計				12,284

機械施設部

施設関係におきましては乾燥施設の排塵装置の改良を実施しました。従来の設備では、網目シートが目詰まりにより、乾燥効率が落ちているように思われ、そこで、排気の流れが良くなるように網目の前に、少し目の粗いスノコ状のフィルターに水を通し、目詰まりが少なくなるようにした結果、防塵効果はもちろん灯油の節約にもつながりました。



また、洗機場とハウスの排水が悪く、雨水が残る状態でしたが、放流管の改良工事を実施し、周辺環境の改善を図りました。

機械関係については、本年度は倒伏水稻の刈り取りに普通型コンバインを使用したことで、ミルキークイーン等の玄米に小麦が混入しました。今後このようなことが無きように、コンバインの整備清掃には気をつけてまいります。

自脱型コンバインにつきましては、水稻の刈り取り終盤にクローラ切断という故障にあい、「NOUSA I」対応にて修理することも考えましたが、耐用年数が過ぎていることから部品調達ができない状態となっており、国の補助事業による新機種コンバインの導入を検討すべき時期と判断します。

また課題でありました、露地野菜栽培に適したハイクリトラクターと農繁期における稲わら収集の効率アップの為に中型井関トラクターを中古品ではありますが、ロータリーカルチ・ロータリー付で導入することができました。今後も、大切に活用してまいります。

(単位：円)

取得資産名	取得額	支払方法
クボタ乗用管理機 GR16-60 中古機 (45H 使用)	1,450,000	6年リースによる 分割 満了後は残価 買取か再リース予定
ニプロロータリーカルチ RM213HKA 2連	380,000	
小 計	(1,830,000)	
井関トラクター TA450 中古機	500,000	JA農機課・現金一括
ニプロロータリー SX2005		
排水溝改修工事 (洗機場・ハウス前)	594,300	工事-岩上産業(株) 現金一括
乾燥施設排塵室改修工事	301,350	
小 計	895,650	
合 計	3,225,650	

企画管理部

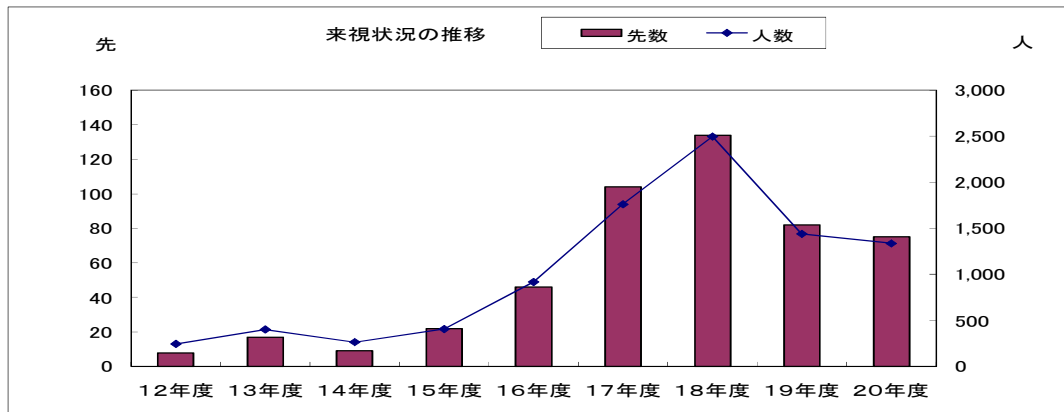
昨年度も、視察者数は落ち着きを見せているものの、講師の派遣依頼は依然高水準です。ただ、過去の評価であって、これからの10年を約束できる体制ではありません。組織を固め、財務を強化し、自立した体制を築いてまいります。

【主に取り組んだ内容】

① 視察者累計9,000人突破！（別紙参照）

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	累計
先数	8	17	9	22	46	104	134	82	75	497
人数	247	403	267	408	918	1,760	2,494	1,439	1,336	9,272

これまでに、延べ497団体、9,272人の方が来村されました。



② 今年度の掲載記事

メディア	月 日	内 容
日本農業新聞	20. 1. 15	全国表彰へ現地審査 女性グループ地域社会参画
日本農業新聞	20. 1. 25	8 集落営農法人活動の事例集作成
日本農業新聞	20. 1. 26	種子用大豆を選別 シルバーパワー発揮
日本農業新聞	20. 2. 13	J Aバンク担い手金融リーダー全国大会 基調講演
日本農業新聞	20. 3. 28	農村チャレンジ活動優秀賞 女性軸に地域活性化
日本農業新聞	20. 4. 2	滋賀の酒人ふあ〜む 労務費減り黒字化
生協流通新聞	20. 2. 5	農水省＝遺伝子組換え技術で意見交換
農林水産先端技術産業振興センター	平成20年3月	バイテクコミュニケーション活動推進事業実施報告書
家の光	9月号	あなたの地域の元気情報「集落みんなで農地を守る」
日本アグリビジネスセンター	2008/10	集落営農の実践、法人化、経営の多角化（基調講演）
農業構造改善	2008/10	集落営農の実践、法人化、経営の多角化（実践講座）
近畿食料・農業・農村情勢報告	平成20年10月	近畿農政局平成19年度報告～集落営農の匠達
県政今の動き	20. 10. 20	地位向上と社会参画へ「農村女性のつどい」開催
こだわり滋賀ネットワーク	20. 11. 30	ブログ「惣」 農村女性の集いー人類最強、それはオバチャン

③ なごやか営農グループ優秀賞受賞

3月7日に、平成19年度農山漁村女性チャレンジ活動表彰があり、なごやか営農グループが、地域社会参画部門において、優秀賞（経営局長賞）に選ばれました。農山漁村の生活の充実と開発に優れた活動実績をもち、男女共同参画推進活動を積極的進めてきた集団を表彰するもので、集落を動かした女性パワーが評価されたことに、集落も大いに沸きました。



④ 「地域水田農業活性化緊急対策」一時金の活用

地域水田農業推進協議会と契約し、拡大面積に応じた助成を受けました。
¥3,750,000 (反当り¥50,000)

⑤ 法人による拠点施設用地の取得

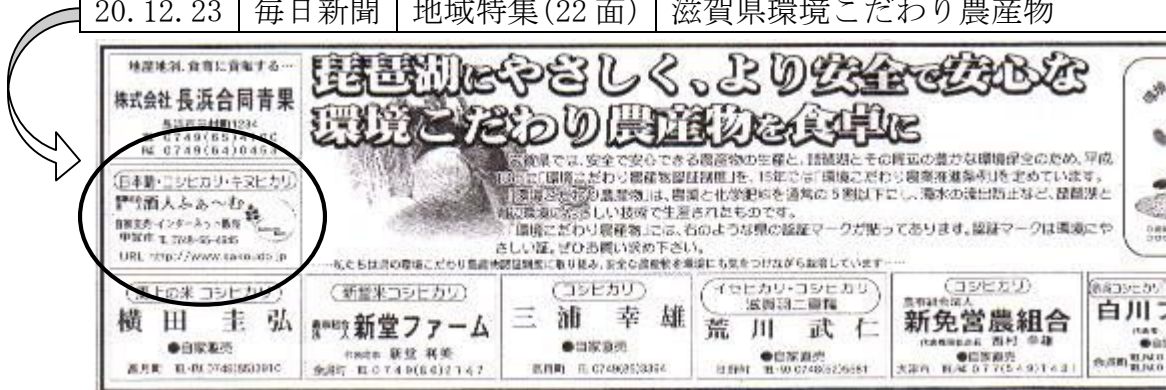
圃場整備事業の創設換地でありました拠点施設の底地代金と整地工事費を支払い、初めて土地取得をいたしました。

甲賀市水口町酒人字蓼原1315番 宅地 1,765.02㎡

用地代金 ¥2,118,000 + 工事費相当額 ¥370,650 = ¥2,488,650

⑥ 広告活動～毎日新聞の広告に掲載！

掲載日	新聞名	掲載箇所	内容
20.12.19	毎日新聞	滋賀版(27面)	水口スポーツの森陸上競技場改修
20.12.23	毎日新聞	地域特集(22面)	滋賀県環境こだわり農産物



⑦ 今年も圃場貸与

昨年度に引き続き、10月13日～18日に柵クボタ「2008いきいき近畿パワーアップセミナー」に圃場を貸与しました。今回は、クボタグループのセールス向け研修会であり、一般のお客様の招待はありませんでしたが、圃場の有効活用ができました。

【平成20年度来視状況】

月 日	来 視 先	内 容	人 数
1 / 20	東近江市稲垂営農組合	先進事例視察	20
1 / 26	竜王町七里グリーンファーム	先進事例視察	28
2 / 1	宇都宮市議会	先進事例視察	11
2 / 8	近畿農政局 鈴木室長・白坂企画官	現地調査	2
2 / 9	東近江市五個荘小幡営農組合	先進事例視察	9
2 / 16	石川県小松市矢田野地区営農組合	先進事例視察	23
2 / 17	長浜市 (農)アグリファーム	先進事例視察	11
	東近江市勝堂町農業組合	先進事例視察	17
	近江八幡市チーム多賀なたねの郷	先進事例視察	14
2 / 19	福島県白河市水田農業推進協議会	先進事例視察	10
2 / 23	米原市農業生産組合エコファーム高番	先進事例視察	21
3 / 5	県立農業大学作物専攻1年生	校外研修	5
3 / 8	山形県西置賜農業技術普及課主任	先進事例視察	1
	東近江市 中野第一土地改良組合	先進事例視察	21
3 / 9	(農)あわら湯のもとファーム	先進事例視察	25
	長浜市びわ町早崎農地水環境守ろう会営農	先進事例視察	13
	兵庫県石原営農組合	先進事例視察	6
3 / 11	三重県多門下川営農組合	先進事例視察	37
3 / 14	新潟県農林水産部経営普及課主査	先進事例視察	1
3 / 15	東近江市宮井町生産組合	先進事例視察	4
3 / 16	栃木県JA足利、JA佐野	先進事例視察	15
3 / 17	熊本県JA熊本うき水田農業対策部	先進事例視察	3
3 / 20	兵庫県加東市集落営農組織連絡会	先進事例視察	33
3 / 29	長浜市東上坂環境を守る会	先進事例視察	22
6 / 8	福井県坂井市上兵庫農家組合	先進事例視察	19
6 / 10	JA滋賀中央会	担い手づくり情報原稿確認	3
6 / 22	家の光編集部	取材	2
6 / 27	岐阜県恵那市笠置町振興会	先進事例視察	36
6 / 29	福井市小幡町農業組合法人こわた	先進事例視察	24
7 / 1	滋賀県担い手育成総合支援協議会	モデル経営体現地調査	1
7 / 3	甲賀市農業振興課ほか	農地・水・環境保全向上対策現地確認	5

月 日	来 視 先	内 容	人 数
7 / 5	J Aグリーン近江集落営農推進リーダー	現地視察	1 1 3
7 / 9	富山県南砺市なんと担い手組織協議会	先進事例視察	2 9
7 / 1 0	徳島県北島町農事研究団体連合会	先進事例視察	1 8
7 / 1 1	徳島市農事実行組合連合会	先進事例視察	1 3
7 / 1 4	福井県大野市(農)平沢生産組合	先進事例視察	3 5
7 / 2 0	岐阜県羽島市桑原町小藪営農組合	先進事例視察	3 6
7 / 2 4	久居地域米麦振興協議会稲作部会	先進事例視察	2 3
7 / 3 0	(社) J A総合研究所 主席研究員	経営体ヒアリング	1
	福島県議会 農林水産委員会	調査	1 2
8 / 4	米原市世継「七夕の里」よつぎ	先進事例視察	1 5
	富山県 J Aアルプス青壮年部	先進事例視察	1 7
8 / 5	広島県 J A三次集落法人グループ	先進事例視察	3 6
8 / 1 0	湖北町(農)大安寺愛郷農園	先進事例視察	2 8
8 / 3 1	三木市吉川地区集落営農協議会	先進事例視察	2 8
9 / 4	韓国忠清南道禮山郡農業財団	先進事例視察	1 7
9 / 1 7	秋田県土地改良事業団体連絡会大館・北秋田支部	先進事例視察	1 2
1 0 / 2	宮城県登米農業改良普及センター	先進事例視察	1
1 0 / 4	野洲市比留田営農組合	先進事例視察	2 4
1 0 / 6	兵庫県猪名川町柏原野菜部会	先進事例視察	3 1
1 0 / 2 3	広島県世羅町担い手育成協議会	先進事例視察	1 1
1 0 / 2 5	J A三原管内集落営農型法人代表	先進事例視察	1 0
1 1 / 2	福井県南条町 営農組合わきあいあい	先進事例視察	1 5
	長浜市八木浜町農地・水・環境保全委員会	先進事例視察	1 4
1 1 / 5	北海道深川市農民協議会	先進事例視察	1 7
1 1 / 7	富山県滑川市 J Aアルプス管内生産組合長代表者会	先進事例視察	9
1 1 / 1 0	京都府与謝野町地域担い手育成総合支援協議会	先進事例視察	1 5
1 1 / 1 1	福井市農業委員会	先進事例視察	3 0
1 1 / 1 4	野洲市北集落営農組合	先進事例視察	9
1 1 / 1 5	J A高岡営農組織協議会	先進事例視察	2 9
1 1 / 1 6	東近江市川合町上本郷環境保全協議会	先進事例視察	2 7
1 1 / 1 8	兵庫県佐用郡佐用町	先進事例視察	2 7
1 1 / 2 1	宮城県亘理農業改良普及センター	先進事例視察	2

月 日	来 視 先	内 容	人 数
1 1 / 2 4	長浜市今町営農組合	先進事例視察	3 1
1 1 / 2 6	伊賀市勝地集落協議会準備会	先進事例視察	1 1
1 1 / 2 8	埼玉県東松山市土地改良区	先進事例視察	2 0
	津市農業委員会	先進事例視察	3 7
1 1 / 2 9	福島県伊達市 J A 伊達みらい	先進事例視察	6
	富山県南砺市 (農) 是安営農組合	先進事例視察	2 7
1 1 / 3 0	福井県越前市庄田町農家組合	先進事例視察	2 0
1 2 / 1	韓国全羅北道益山(익산)市	先進事例視察	2 4
1 2 / 4	岡山地方農業士会	先進事例視察	1 3
1 2 / 1 7	京都大学農学部学生	学術調査	1
	農水省、近畿農政局、滋賀県	農用地集団化利用調査	1 0
1 2 / 1 9	福岡県久留米市議会	先進事例視察	6
合計	7 5 先 (前年度比 - 7 先)	1, 3 3 6 人 (前年度比 - 1 0 3 人)	

【平成 2 0 年度講師派遣】

月 日	派 遣 先	主 催	内 容
1 / 1 7	栃木県佐野市	J A 佐野	集落営農法人化研修会講演
1 / 1 8	キャンパスプラザ京都	近畿農政局	大豆安定生産・需要拡大近畿地域協議会
1 / 1 9	栗東市御園南部営農組合	J A 栗東市	法人設立の取り組みについて
1 / 2 1	東京都千代田区	農林中央金庫	J A バンク担い手金融リーダー全国大会
2 / 2	長野県伊那市	J A 上伊那	農業振興推進大会事例報告
2 / 5	山口県柳井市	柳井市農業委員会、柳井市担い手育成総合支援協議会	農業委員と認定農業者との意見交換
2 / 6	群馬県前橋市	日本アグリビジネスセンター	アグリビジネススクール講演
2 / 7	群馬県伊勢崎市	佐波伊勢崎地域担い手育成総合支援協議会	集落営農先進事例講演会
2 / 1 0	水口町杣中	(農) サンファームそまなか	設立総会
2 / 1 1	兵庫県小野市	小野市農業を考える会	小野市農業を考える大会 2008
2 / 2 1	佐賀市	佐城農業改良普及センター	集落営農確立研修会講演
3 / 1	東近江市愛東	東近江市愛東農業指導センター	農業シンポジウム
	草津市	湖南地域担い手育成総合支援協議会	推進大会
3 / 3	福島県会津若松市	福島県会津農林事務所	集落営農推進研修会
6 / 3 0	石川県白山市	石川農林総合事務所	集落営農リーダー研修会
8 / 6	福井県丹生郡越前町	越前町担い手育成総合支援協議会	経営高度化研修会

月 日	派 遣 先	主 催	内 容
8 / 8	茨城県小美玉市	茨城県担い手育成総合支援協議会	茨城県集落営農躍進の集い
8 / 19	甲賀地域営農センター	甲賀地域担い手育成総合支援協議会	担い手相談会アドバイザー
8 / 28	兵庫県三木市	J A兵庫中央会	集落営農指導員養成研修会
9 / 21	栗東市さきら	J A滋賀中央会	食と農を守る滋賀県農業者決起集会 代表要請
10 / 2	J A甲賀郡 本所	甲賀地域担い手育成総合支援協議会	集落営農リーダー交流会
10 / 28	大津市 滋賀県庁	平成20年度 農村女性のつどい	なごやか営農グループ活動紹介
11 / 11	甲賀市役所	福井市農業委員会	甲賀市行政視察
12 / 3	岡山県津山市	美作県民局農林水産事業部	美作地域集落営農推進大会
12 / 4	東近江地域農業センター	東近江地域豊い手育成総合支援協議会	担い手総合相談会
	岐阜市ほか	滋賀県農業法人協会	農業法人全国秋季セミナー
12 / 11	農林水産研修所	農林水産省	普及指導員研修

【平成20年度受講研修】

月 日	研 修	出 席 者	内 容
1 / 22	水口町良質米研究会	林信	情報交換
1 / 24	水口町農業機械銀行設立30周年記念式典	東浦、福西	記念式典
1 / 26	甲賀地域農業者のつどい	東浦、福西	講演など
1 / 29	水口納税協会	東浦	新春講演会
2 / 2	米政策改革推進・地域水田農業ビジョン実践強化集会	藤田貢、林喜	研修会
2 / 6	花野果倶楽部視察研修	山田亨、林一、林鶴、山中静、藤野	J A大阪泉州直売所「こ～たり～な」
2 / 13	甲賀市水田農業推進協議会	林信	地域水田農業活性化緊急対策事業説明会
2 / 18	J A甲賀郡大規模稲作経営者部会	東浦	総会
2 / 24	水口町露地野菜部会	林信	先進地視察（高山市）
2 / 26	農林漁業金融公庫	千廣	交流会
3 / 3	花野果倶楽部	東浦	総会
3 / 7	イチジク栽培技術研修会	すこやか営農G	研修会
	麦作施肥研修会	東浦	圃場巡回 研修会
3 / 19	水口町露地野菜部会	山田亨	総会
3 / 25	水口町観光協会物産部会	東浦	部会
4 / 24	水口町観光協会	東浦	理事会
4 / 25	水口町良質米研究会	東浦	総会
5 / 9	水口町観光協会	東浦	総会

月 日	研 修	出 席 者	内 容
5 / 2 0	イチジク栽培技術研修会	すこやか営農G	研修会
5 / 3 1	あぜみちモーニングスクール	東浦、西村伊	現地研修会
6 / 1 9	甲賀地域担い手育成総合支援協議会	林信、福西	説明会、交流会
6 / 2 4	大豆密植無培土栽培研修会	東浦、福西	研修会
7 / 1	水口町露地野菜部会	伴	秋冬野菜作付計画会議
7 / 3	水口町良質米研究会	東浦	研究会
7 / 6	あぜみちモーニングスクール	東浦、伴、西村伊	現地研修会
7 / 1 1	甲賀郡農業協同組合	東浦	小松市アグリ松東視察
7 / 1 6	水口町観光協会	東浦	水口夏まつり実行委員会
7 / 2 3	J A 甲賀郡特別栽培米生産部会	東浦	(株)神明 視察研修
7 / 3 1	トマト栽培研修会	なごやか営農G	水口営農センター研修
8 / 2 2	水口町良質米研究会	東浦	視察研修
8 / 2 6	J A 甲賀郡稲わら生産供給組合	西村	検討会
8 / 2 9	滋賀県農業法人協会	東浦	通常総会
1 0 / 2 8	水口納税協会	東浦	管外研修
1 0 / 3 0	滋賀県農村女性活動グループ協議会	なごやか営農G	農村女性のつどい
	滋賀県		フォーラム
1 1 / 1 3	甲賀地域担い手育成総合支援協議会	東浦	全国農業担い手サミット
1 1 / 1 4	J A グループ滋賀	東浦、西村、伴	農業機械大展示会
1 1 / 1 8	甲賀地域担い手育成総合支援協議会	谷口、山中悟、西村伊	農業簿記連続講座 4 回
1 1 / 2 1	J A 甲賀郡大規模稲作経営者部会	伴	研修会、交流会
1 1 / 2 6	甲賀地域担い手育成総合支援協議会	伴	生産支援事業説明会
1 1 / 3 0	J A 甲賀郡特別栽培米生産部会	伴	研修会
1 2 / 1 1	イチジク栽培技術研修会	伴	研修会
1 2 / 1 6	甲賀市 肥料・燃油高騰対策事業	東浦	説明会
1 2 / 2 4	担い手経営革新促進事業・モデル経営体説明会	伴	説明会
1 2 / 2 5	水田対策協議会	東浦	総会

【平成20年度表彰受賞】

月 日	内 容	出 席 者	会 場
3 / 7	農山漁村女性チャレンジ活動優秀賞受賞	なごやか営農グループ	九段会館

酒人田園環境愛護会の活動を紹介します！



啓発看板の作製・設置(平成20年9月21日)



小学生の酒人川生態系調査(平成20年10月12日)

貸借対照表

農事組合法人酒人ふあーむ

2008年12月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	42,918,642	【流動負債】	10,263,082
現金・預金	14,785,482	未払金	9,845,264
売掛金	12,453,515	リース債務	345,618
農産物	36,900	未払法人税等	72,200
棚卸品	550,768	【固定負債】	71,620,935
未収金	8,283,111	長期借入金	55,208,619
仮払金	6,808,866	長期リース債務	1,382,472
【固定資産】	60,616,925	農用地利用集積準備金	1,616,299
【有形固定資産】	60,266,155	農業経営基盤強化準備金	13,413,545
建築物	43,743,295	負債の部合計	81,884,017
構築物	1,585,502	純資産の部	
機械装置	15,338,540	【資本金】	4,480,000
農機具	30,884,005	出資金	4,480,000
車両運搬具	330,000	【利益剰余金】	17,171,550
工具器具備品	1,039,500	利益準備金	4,480,000
減価償却累計額	△34,728,396	その他利益剰余金	0
土地	1	当期末処分剰余金	12,691,550
リース資産	2,073,708	純資産の部合計	21,651,550
【投資その他の資産】	350,770	負債・純資産合計	103,535,567
外部出資金	50,000		
保険積立金	300,770		
資産の部合計	103,535,567		

損益計算書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 2008年 1月 1日 至 2008年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
【事業損益の部】		
【事業収益】		
【販売高】		
販 売 高	39,829,585	
奨 励 助 成 金	27,956,201	
販 売 高 合 計		67,785,786
【事業費用】		
【生産原価】		
期首農産物棚卸高	101,360	
当期農産物原価	39,819,051	
合 計	39,920,411	
期末農産物棚卸高	36,900	
事 業 原 価		39,883,511
事 業 総 利 益		27,902,275
【事業管理費】		
事業管理費合計		2,476,361
事 業 利 益		25,425,914
【事業外損益の部】		
【事業外収益】		
受 取 利 息	9,688	
雑 収 入	2,435,303	
事 業 外 収 益 合 計		2,444,991
【事業外費用】		
支 払 利 息	811,384	
事 業 外 費 用 合 計		811,384
経 常 利 益 金 額		27,059,521
【特別損益の部】		
【特別利益】		
集積準備金取崩益	2,488,649	
特 別 利 益 合 計		2,488,649
【特別損失】		
固定資産圧縮損	2,488,649	
前期損益修正損	820,826	
農業経営基盤強化準備金繰入	13,413,545	
特 別 損 失 合 計		16,723,020
税引前当期純利益金額		12,825,150
法 人 税 等		133,600
当 期 純 利 益 金 額		12,691,550

事業管理費内訳書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 2008年 1月 1日 至 2008年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額
福 利 厚 生 費	115,194
教 育 ・ 研 修 費	96,050
旅 費 交 通 費	88,568
通 信 費	149,508
交 際 費	125,000
支 払 手 数 料	110,155
諸 会 費	195,373
水 道 光 熱 費	39,165
賃 借 料	88,000
事 務 用 消 耗 品 費	509,053
租 税 公 課	484,800
雑 費	107,995
税 務 顧 問 料	367,500
事 業 管 理 費 合 計	2,476,361

事業原価内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 2008年 1月 1日 至 2008年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【総事業費用】		
【資材費】		
種 苗 費	3,767,502	
肥 料 費	5,307,173	
農 薬 費	2,102,564	
諸 材 料 費	551,467	
合 計	11,728,706	
資 材 費 合 計		11,728,706
【労務費】		
農 業 労 災 費	182,638	
労 務 費 合 計		182,638
【その他生産費】		
農 具 費	366,975	
作 業 委 託 料	2,417,109	
土 地 改 良 水 利 費	2,938,410	
動 力 光 熱 費	2,089,109	
修 繕 費	3,379,759	
荷 造 運 賃 発 送 費	321,709	
租 税 公 課	8,000	
機 械 賃 借 料	250,639	
機 械 リ ー ス 料	1,950,496	
年 貢 料 (借 地 料)	6,107,567	
生 産 調 整 抛 出 金	374,784	
農 業 共 済 費	1,188,173	
雑 費	206,587	
減 価 償 却 費	6,308,390	
そ の 他 生 産 費 合 計		27,907,707
当 期 事 業 原 価		39,819,051
合 計		39,819,051
当 期 農 産 物 原 価		39,819,051

剰余金処分案

(単位:円)

当期末処分剰余金の処分

項 目	金 額	
当期末処分剰余金の処分		12,691,550
合 計		12,691,550
これを次のとおり処分する		
従事分量配当金		12,691,550
次期繰越剰余金		0

以上のとおり報告します。

農事組合法人酒人ふぁーむ

代 表 理 事	東浦 常夫
理 事	小林 伊佐治
理 事	林 信博
理 事	福西 義幸
理 事	坂田 精平
理 事	伴 慎也
理 事	西村 清秋

附属明細書

平成20年度予算実績対比表

自2008年1月1日～至2008年12月31日

(単位千円)

勘定科目	平成20年度予算額		実績額		差異金額	
	金額	金額/反	金額	金額/反	金額	金額/反
[耕作面積]	換算389.1反		換算389.1反			
		385		373.7		385
[事業収益]						
[販売高]						
販売高	43,649	113	39,829	103	-3,820	-10
奨励・助成金	19,351	50	27,956	73	8,605	22
販売高合計	63,000	164	67,785	176	4,785	12
[事業費用]						
[期首農産物棚卸]			101		101	
[期末農産物棚卸]			37		37	
[資材費]						
[生]種苗費	5,400	14	3,768	10	-1,632	-4
[生]肥料費	6,300	16	5,307	14	-993	-3
[生]農薬費	2,050	5	2,103	5	53	0
[生]諸材料費	530	1	550	1	20	0
生産資材費合計	12,500	32	11,728	30	-772	-2
[労務費]						
[生]農業労災費	400	1	183	0	-217	-1
労務費合計	400	1	183	0	-217	-1
[その他生産費]						
[生]動力光熱費	2,390	6	2,089	5	-301	-1
[生]修繕費	3,500	9	3,747	10	247	1
[生]機械賃借料	200	1	250	1	50	0
[生]年貢料(借地料)	6,100	16	6,107	16	7	0
[生]作業委託料	2,420	6	2,417	6	-3	0
[生]土地改良水利費	2,940	8	2,939	8	-1	0
[生]農業共済費	1,000	3	1,188	3	188	0
[生]生調拠出金	500	1	374	1	-126	0
[生]機械リース料	1,950	5	1,950	5	0	0
[生]荷造運賃発送料	500	1	321	1	-179	0
[生]雑費	500	1	217	1	-283	-1
[生]減価償却費	6,000	16	6,308	16	308	1
その他生産費合計	28,000	73	27,907	72	-93	0
事業費用合計	40,900	106	39,882	104	-1,018	-3
[事業総利益]	22,100	57	27,903	72	5,803	15
[生]労務費(従事分量配当)	15,000	39	12,692	33	-2,308	-6
[改め事業総利益]	7,100	18	15,211	40	8,111	21
[事業管理費]						
[管]福利厚生費	100		115		15	
[管]旅費交通費	100		89		-11	
[管]通信費	150		150		0	
[管]交際費	200		125		-75	
[管]支払手数料	50		110		60	
[管]諸会費	300		195		-105	
[管]水道光熱費	50		39		-11	
[管]賃借料	100		88		-12	
[管]教育・研修費	380		96		-284	
[管]事務用消耗品費	500		509		9	
[管]修繕費	100		0		-100	
[管]租税公課	1,200		485		-715	
[管]雑費	200		108		-92	
[管]税務顧問料	370		367		-3	
事業管理費合計	3,800	10	2,476	6	-1,324	-3
[事業利益]	3,300	9	12,735	33	9,435	25
[事業外損益]	-850		1,634	4	2,484	4
[経常利益]	2,450	6	14,369	37	11,919	31

(注)従事分量配当金は労務費として計算しています。

(注)集積準備金繰入金、農業経営基盤強化繰入金は特別損失勘定で処理をしています。

平成20年度事業実績明細表

自 2008/1/1 ～ 至 2008/12/31

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜		ハウス野菜		育苗	その他	共通	合計
	201.5反	186.3反	188.8反	10.0反	3.0反									
〔耕作面積〕														
〔事業収益〕														
農産物売上高	27,005	134		999	5	8,642	46	1,187	119	1,425	475	0		39,258
その他売上高	162	1		0	0	0	0	0	0	0	0	221	-2,836	571
奨励助成金	4,059	20		15,326	82	7,576	40	527	53	107	36	0		27,956
売上高合計	31,226	155		16,325	88	16,218	86	1,714	171	1,532	511	221	-2,836	67,785
事業原価														
〔期首棚卸〕	28					73								101
〔資材費〕														
[生]種苗費	2,836	14		611	3	268	1	705	71	114	38		-2,836	3,768
[生]肥料費	2,846	14		2,240	12	0	0	190	19	31	10			5,307
[生]農薬費	1,144	6		180	1	659	3	100	10	20	7			2,103
[生]諸材料費	242	1		9	0	71	0	88	9	140	47	0		550
資材費合計	7,068	35		3,040	16	998	5	1,083	108	305	102	0	-2,836	11,728
〔労務費〕														
[生]労災保険費	75	0		49	0	46	0	11	1	2	1	0	0	183
労務費合計	75	0		49	0	46	0	11	1	2	1	0	0	183
〔経費〕														
[生]動力光熱費	857	4		543	3	564	3	104	10	21	7			2,089
[生]農具修繕費	1,537	8		974	5	1,011	5	187	19	38	13			3,747
[生]機械賃借料	215	1		16	0	16	0	3	0	0	0			250
[生]年貢料(借地料)	2,504	12		1,588	8	1,649	9	305	15	61	20			6,107
[生]作業委託料	0	0		1,492	8	790	4	135	14	0	0	0		2,417
[生]農業水利費	1,205	6		764	4	793	4	147	7	30	10			2,939
[生]農業共済費	262	1		261	1	608	3	27	3	30	10	0		1,188
[生]生調拠出金	374	2		0	0	0	0	0	0	0	0			374
[生]リース料	353	2		224	1	233	1	43	4	553	184	0		1,950
[生]荷造発送費		0		0	0	0	0	208	21	113	38			321
[生]減価償却費	2,587	13		1,640	9	1,703	9	315	32	63	21			6,308
[生]雑費	89	0		56	0	59	0	11	1	2	1			217
経費合計	9,983	50		7,558	41	7,426	39	1,485	149	911	304	0	0	27,907
〔期末棚卸〕	19					18								37
事業原価合計	17,135	85		10,647	57	8,525	45	2,579	258	1,218	406	0	-2,836	39,882
事業総利益	14,091	70		5,678	30	7,693	41	-865	-87	314	105	221	0	27,903
[生]労務費	4,987	25		1,612	9	3,287	17	1,282	128	1,524	508		0	12,692
改め事業総利益	9,104	45		4,066	22	4,406	23	-2,147	-215	-1,210	-403	221	0	15,211
〔事業管理費〕	1,014	5		644	3	669	4	124	12	25	8		0	2,476
事業総利益	8,090	40		3,422	18	3,737	20	-2,271	-227	-1,235	-412	221	0	12,735
〔事業外損益〕	670	3		425	2	441	2	82	8	16	5	0	0	1,634
経常損益	8,760	43		3,847	21	4,178	22	-2,189	-219	-1,219	-406	221	0	14,369

(注)従事分量配当金は労務費として計算しています。

監 査 報 告 書

平成 21 年 2 月 22 日

農事組合法人酒人ふあ～む
代表理事 東浦 常夫 様

監 事 谷口 榮治

監 事 奥村 信行

私たち監事は、平成 20 年 1 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日までの第 7 期事業年度の理事の職務の遂行、事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに附属明細書について監査しました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合しており、組合財産の状況及びその他の事情に照らし、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書については、特に指摘すべき事項は認められません。
- (5) 理事の職務遂行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

第四次 3 カ年事業計画

平成 20 年度～平成 22 年度

〔基本テーマ〕

第一次 3 カ年（11 年～13 年）

「夢・創意・挑戦」 時代にマッチした農業経営

第二次 3 カ年（14 年～16 年）

「決断」と「実行」 「づくり」の時期

第三次 3 カ年（17 年～19 年）

「自立」と「自律」 夢（ビジョン）の具現化

第四次 3 カ年（20 年～22 年）

「農業」と「環境」 「生きていく」新たな挑戦

〔理念〕

1. 人づくり
2. 組織づくり
3. 産地づくり
4. 地域づくり

〔基本方針〕

1. 「儲かる」から「儲ける」へ
2. 「売れる」から「売 る」へ
3. 「できる」から「作 る」へ
4. 「参加」から「参画」へ
5. 「集落」から「地 域」へ

「限界集落」とは長野大教授の大野晃氏が提唱した概念で、65 歳以上が 50% を越え共同体の維持が困難になる集落のことをいう。国勢調査によると、滋賀県でも過疎化・高齢化で 2000 年では 21 カ所が 2005 年には 32 カ所に増え、高齢者比率（65 歳以上）の平均も 60.5% と 2.9 ポイント拡大している。

わが集落酒人も例外ではない。昨年から取り組んできた「農地・水・環境保全向上対策」も、農村環境の衰退を遅らせるための点滴にすぎない。補助金に頼らない次の仕組みを集落自身でつくりあげなければならない。

農村環境の源は農業そのものである。農業が農地を守り、さらには農村を守る。わが集落のビジョンは何をめざすのか。「生きている」集落なのか、「生かされている」集落なのか。将来を展望するとき、「生きている」にとどまらず、「生きていく」さらには「生き残る」強い集落であらねばならない、と考える。

発足の精神に原点回帰し、農業を担っている誇りと安全・安心な農産物の提供といった生産者としての使命感をもち新たな課題に挑戦してまいります。

平成21年度事業計画書

生産部

昨年の食品問題や小麦製品を含めた食料品全般の価格が上昇にする中で、国内産農産物への嗜好移行や米の消費増加の機運が高まり、米粉などを利用した食品も多く開発されてきています。

このような、情勢を的確につかみ農業を担っている誇りと安全・安心な食料の提供といった使命を計画に込め一丸となって立ち向かいます。

栽 培

生産資材価格の高騰に伴い、今日まで以上に生産原価への影響が懸念されるなか、堆肥等の有効利用などその対策を十分に考慮した生産体制を築きます。

また、新政策や情勢を機敏に察知し、営業部との両輪で「売のために作る」をスローガンに安全・安心・顔の見える新鮮な食材を生産。明日の酒人を見つめ「生き残っていく」ための耕し方を考察してまいります。

[重点方針]

1. 品質・環境に配慮した農業
減化学肥料・減農薬栽培技術の修得
2. 売価に見合った生産原価
コスト意識の徹底
3. 的確な栽培管理
増収・増益の生産工程管理（GAPの実践）
4. 新規作物・新技術の導入
「酒人ブランド農産物」の早期具現化

[事業計画]

(穀物・野菜生産年次計画) =2ブロックローテーション

①21年度穀類生産計画

水		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
稲	うるち玄米	1,838	540	9.0	99,240	1,654
	もち(羽二重)玄米	624	540	9.0	33,660	561
	合計	2,462	540	9.0	132,960	2,215

小		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
麦	農林61号	1,450	300	5.0	43,500	725
	合計	1,450	300	5.0	43,500	725

大		栽培面積 (a)	10a当り		生産量		
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)	
豆	ふくゆたか	種子用	899	180	3.0	16,200	270
		食糧用	551	210	3.5	11,580	193
	合計	1,450	196	3.26	27,780	463	

②21年度野菜栽培形態別生産計画

露	品目	栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	出荷量	総収量 (kg)	出荷量
地	ブロッコリー	100.0	600	(5kg) 120箱	6,000	1,200箱
	白菜	30.0	4,050	(15kg) 270箱	8,100	540箱
	えびす南瓜	40.0	1,200	(10kg) 120箱	4,800	480箱
	いちじく	23.6	-	-		750パック

ハ	品目	栽培面積 (a)	1a当り		生産量	
			収量 (kg)	出荷量	総収量 (kg)	出荷量
ウ	小松菜	20.3	100	(200g) 600袋	2,400	12,000袋
	ほうれん草	1.8	150	(200g) 750袋	270	1,350袋
ス	サニーレタス	14.6	150	(250g) 600袋	2,190	8,760袋
	トマト	4.0	400	(4kg) 100箱	1,600	400箱

③21年度耕畜連携稲わら生産計画 (JA稲わら生産供給組合)

稲		採集面積 (a)	10a当り		生産量	
			収集量 (kg)	梱包 (10kg)	総収集量 (kg)	出荷量 (梱包)
わ	飼料用稲わら	1,200	400	40	48,000	4,800
	合計	1,200	400	40	48,000	4,800

労 務

今年こそと、頭に描いた1月。大豆圃場の後始末、麦の追肥、地力増進のための堆肥散布とプラウ耕・・・等々。おっと忘れてはならないのが畦畔の補修。2月にはいると天候不順、好天の土日は麦圃場の排水作業。水稻や大豆収穫で活躍してくれた大事なコンバインの手入れ。ハウスの補修。あっという間に3月。弥生の季節ともなると、畦に雑草が芽吹き、麦が伸びぬのになぜお前らがと腹が立つ・・・。桜が蕾をつけ始める4月には育苗ハウスは稚苗で満杯。酒人ふぁ～むの全員野球が始まる。さあ本年もチームワークで勝負・・・。

[重点方針]

1. 労務コスト低減～段取り八分で効率作業
2. みんなで耕す～快適環境で楽しく地域保全
3. ユニホーム着用すればプロ～未然に防ごう労働災害

[事業計画]

作物別労働時間計画

(単位：時間)

	水稻		小麦	大豆	露地野菜	ハウス野菜	共通	合計
	栽培・収穫	稲わら収集	栽培・収穫	栽培・収穫	栽培・収穫	栽培・収穫	営業・事務・施設	
配分率	20%	4%	5%	23%	23%	15%	10%	100%
1月	50	0	20	1,400	200	130	100	1,900
2月	30	0	10	800	100	100	300	1,340
3月	80	0	30	0	140	270	100	620
4月	400	0	15	0	150	100	80	745
5月	600	0	100	0	200	150	100	1,150
6月	100	0	250	100	350	250	100	1,150
上期	1,260	0	425	2,300	1,140	1,000	780	6,905
7月	200	0	0	350	450	200	150	1,350
8月	140	0	0	100	350	220	120	930
9月	700	100	0	100	600	240	50	1,790
10月	500	300	50	30	400	250	100	1,630
11月	100	200	150	40	300	150	200	1,140
12月	130	0	50	500	200	130	100	1,110
下期	1,770	600	250	1,120	2,300	1190	720	7,950
合計	3,030	600	675	3,420	3,440	2190	1,500	14,855

営 業 部

食の「安全」・「安心」・「食農」・「食育」、農が育む豊かな未来、ふあ～むの実践する生産行動の見える化が信頼を生む。生まれた信頼が、流通につながり、酒人の旬が地域から全国へ。我が組合が策定する営業理念である。明日の確立を目指す。

[重点方針]

- ① 徹底したマーケティング～何を生産し、どう提供するか
- ② 営業・生産の部門連携～求められるものを、求められるときに

[事業計画]

1. 販売体制の確立
全組合員による営業システムづくり。
2. 販売網の拡充
様々な媒体により、知名度アップを図り、販路の拡大。
3. 流通・加工部門の創設
大地の恵みをあますところなくタイムリーにエンドユーザーへ。

①21 年度穀類市場（マーケット）別販売計画

水	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	う る ち 玄 米		1,054	12,500	13,175
	もち (羽二重) 玄米		541	15,000	8,115
	小 計		1,595	13,340	21,290
稲	直 販		販売量 (俵)	販売単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	う る ち 玄 米		600	16,500	9,900
	もち (羽二重) 玄米		20	20,000	400
	小 計		620	16,610	10,300
	合 計		2,215	14,260	31,590

小麦	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	農 林 6 1 号		725	1,000	725
	合 計		725	1,000	725

大豆	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	ふくゆたか	種子用	270	27,000	7,290
		食糧用	193	3,000	579
		小 計	463	16,990	7,869

大豆	直 ふくゆたか	販	販売量 (俵)	販売単価 (円/俵)	販売高 (千円)
		種子用	-	-	-
		食糧用	-	-	-
	小計	-	-	-	
合	計	463	16,990	7,869	

②21年度野菜栽培形態別販売計画

露地	品目	出荷量	売価単価 (円)	販売高 (千円)
露地	ブロッコリー	1,200箱	1,000	1,200
	白菜	540箱	700	378
	えびす南瓜	480箱	1,000	480
	いちじく	750 ^{バツ}	400	300
小計				2,358
ハウス	品目	出荷量	売価単価 (円)	販売高 (千円)
ハウス	小松菜	12,000袋	70	840
	ほうれんそう	1,350袋	100	135
	サニーレタス	8,760袋	70	613
	トマト	400箱	1,050	420
小計				2,008
合計				4,366

野菜市場 (マーケット) 別販売計画

品目	業 販				直 販				合 計	
	大津・京都市場出荷		中食・外食・食材企業		花野果市JA直売所		イベント・直売		数量 (一)	販売高 (千円)
	数量 (束、箱)	販売高 (千円)	数量 (束、箱)	販売高 (千円)	数量 (俵、束、個)	販売高 (千円)	数量 (束、個、箱)	販売高 (千円)		
ブロッコリー	1,100	1,100	-	-	90	90	10	10	1,200	1,200
白菜	500	350	-	-	30	21	10	7	540	378
えびす南瓜	450	450	-	-	20	20	10	10	480	480
いちじく	300	120	-	-	300	120	150	60	500	300
小松菜	10,500	730	-	-	1,400	100	150	10	12,000	840
ほうれん草	1,350	135	-	-	-	-	-	-	1,350	135
サニーレタス	8,570	600	-	-	190	13	-	-	8,760	613
トマト	190	200	-	-	160	170	50	50	400	420
合計	-	3,685	-	-	-	554	-	127	-	4,366

※業販=JA・市場等への業者を通じた販売、直販=直売所、ネット等を通じた直接販売

③耕畜連携稲わら販売計画 (JA甲賀郡稲わら生産供給組合)

稲わら	業 販		出荷量 (梱包)	出荷単価 (円/梱包)	販売高 (千円)
	飼料用稲わら	配 達	4,800	420	2,016
		引 取			
合	計	4,800	420	2,016	

機械施設部

[重点方針]

「経営改善は農機のメンテから」オペレーターの積極的な研修参加を促すとともに、農機の整備・修理費の削減と効率運用を図る！

[事業計画]

1. 4条刈り自脱型コンバインと8条植田植機の導入
 国の「平成21年度担い手経営展開リース事業」の1つである「集落営農緊急支援タイプ」を活用してまいります



2. 農機操作技術の習得と効率的運用

ビデオ・DVD回覧視聴による技術研修を実施します。

- ①クボタ 「普通型コンバイン取扱要領」(45分)
- ②農文協 「イナ作作業名人になる！(春作業編)」(100分)
- ③農文協 「イナ作作業名人になる！(秋作業編)」(58分)

3. 「アンテナショップ」設置計画の再策定

加工直売所・アンテナショップの設置については、自家製品の開発など乗り越えなければならないハードルがあり、慎重に議論した上で今後の努力目標とします。

[投資計画]

(単位：円)

投資予定資産	取得費	予定補助金	負担金
ヤンマーコンバイン AG467CJU-K 67馬力4条刈	7,150,000	5,000,000	5,650,000
クボタ乗用田植機 NSD8-IR-HSY-Fディーゼル8条植	3,335,000		
啓文社 真空播種機シードエース SA31 (野菜栽培用)	150,000		
小計	10,650,000	5,000,000	5,650,000
乾燥調整場・格納庫前 排水溝整備工事(整地工含む)	1,350,000	(農用地利用集積準備金取崩)	1,350,000
合計	12,000,000	5,000,000	7,000,000

※投資額の1/2国庫補助(上限5,000千円)、残金は5~6年リースによる分割

企画管理部

[重点方針]

1. 財務の健全化と組織の強化。
2. 資本の充実で経営基盤の足固め。
3. 組合員と受託面積の拡充。
4. 特定農用地利用規定の遵守。
5. 農用地利用改善団体との連携。

[事業計画]

1. 財務部門の強化

役員改選を機に財務部門の権限を強化するとともに、各部の連携を密にし、資金繰りの安定化と経費削減に努めます。また、経理担当者の養成を図ります。

2. 組織の足固め

発足して 10 年たち、組織も制度疲労を起こしており、各グループとも役員の義務感に頼っているのが現状です。その役員も高齢化が進みつつあり、新理事体制で組織再生と基盤固めを目指します。

3. 組合員との受委託（賃貸借）契約締結（利用権設定）＝農用地利用改善団体

換地完了にともなう面積確定により、農用地利用改善団体の指導の基に、組合員個々に委託の意向を再確認させていただき、農地法上の受委託（賃貸借）契約締結（利用権設定）を順次行います。また、これを機会に組合員と受託面積の拡充を図り、経営基盤を固めます。

※ 利用権設定＝農業委員会への届出のことです。

4. 資本の充実

百年に一度の金融危機とも言われる中で、自己資本の充実は今組合においても最重要課題です。機械の老朽化にともなう更新の連続で、資金繰りはできても資金余裕は厳しい状況です。これからの 10 年を展望する時、助成金のある今の段階で資本の充実を図り、資金面から組織運営を軌道に乗せておかねばなりません。上記利用権設定にともない出資金の見直しと、増資を図ってまいります。

増資のために、これから 4 年間段階的に出資積立（年貢支払時に控除）をお願いし、最終年度に資本に組み入れ（増資）る計画です。

出資金（現行）¥4,480,000→（4 年後目標）¥13,000,000 円 1300 口

※反当たり ¥5,000 を毎期年貢支払時に控除積立させていただきます。

5. 収穫感謝祭の実施

酒人ふぁ～む創立 10 周年を節目とする意味でも、今年 11 月には区や関係団体とも連携し、収穫感謝祭を開催する予定です。

平成21年資金繰計画

《平成20年資金繰り実績》

【入金】

	入金①	借入金	奨励金	売上高他
繰越				
1	1,703		38	1,557
2	9,319	7,991	309	1,019
3	25,248		15,981	9,268
4	1,463		897	566
5	85		64	21
6	8,906		4,387	4,519
7	261			261
8	3,924		3,593	331
9	498			498
10	9,992			9,992
11	1,008			1,008
12	18,821		5,880	12,941
合計	81,227	7,991	31,149	41,979

【残高】

単位:千円

預貯金残高	①-② 残高
7,721	
-1,235	6,486
-5,715	771
21,516	22,287
-14,167	8,120
-1,723	6,397
5,182	11,578
-2,033	9,545
-5,163	4,382
-1,301	3,081
6,103	9,184
-2,848	6,337
8,451	14,787
14,787	

【出金】

	出金②	返済	リース	人件費	固定資産	原価・経費
1	2,939					2,939
2	15,034	12,715				2,319
3	3,732	100			2,489	1,144
4	15,630	8,100		6,867		663
5	1,808	100			368	1,341
6	3,724	100				3,624
7	2,294	100				2,194
8	9,086	100	346	5,911		2,730
9	1,799	100	817			882
10	3,889	100				3,789
11	3,855	100	2,938			817
12	10,370	100	7,195			3,075
合計	74,161	21,715	11,297	12,777	2,856	25,516

《平成21年資金繰計画》

区分 繰越	前期繰越	入金	出金				残高
			定期支出	投資	経常支出	計	
1	14,700	1,500	100	0	4,600	4,700	11,500
2		1,000	9,740	0	1,500	11,240	1,260
3		19,000	100	0	1,800	1,900	18,360
4		1,000	7,450	0	1,000	8,450	10,910
5		500	470	0	2,100	2,570	8,840
6		9,000	100	0	5,700	5,800	12,040
7		500	100	0	3,400	3,500	9,040
8		4,500	7,800	0	4,300	12,100	1,440
9		1,000	920	0	1,400	2,320	120
10		10,000	100	1,200	5,900	7,200	2,920
11		2,000	3,040	0	1,300	4,340	580
12		14,000	7,300	0	5,800	13,100	1,480
合計	14,700	64,000	37,220	1,200	38,800	77,220	1,480

(次期繰越)

任期満了による役員を選任について

(定款 第19条 第20条)

○役員推薦委員会により推薦された役員候補者名簿

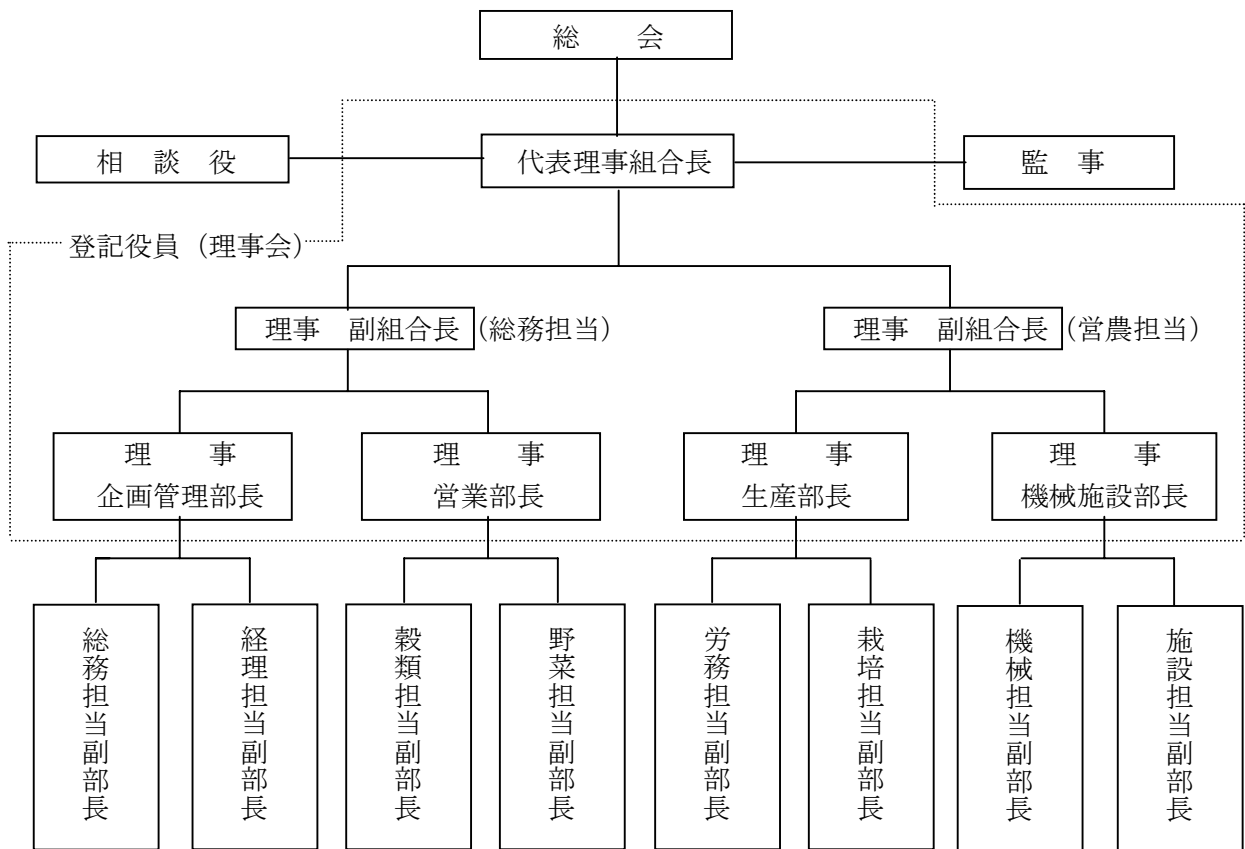
理事候補者（7名）

監事候補者（2名）

- ※ 敬称略 順不同
- ※ 理事の職務担当につきましては理事の互選とします。
- ※ 監事の職務担当につきましては監事の互選とします。

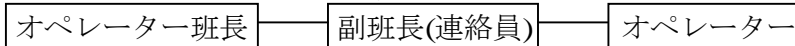
農事組合法人酒人ふあ～む組織図

平成 21 年 3 月 1 日現在



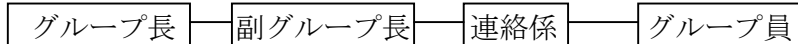
酒人ふあ～む協力組織

① オペレーターグループ (ふあ～む直轄)



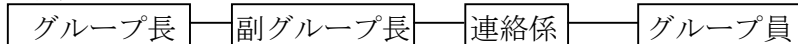
☆酒人区内に居住し、集落営農の趣旨に賛同し、オペレーターとして出役が可能で
営農意欲のある 20 歳以上 55 歳以下の男子 (登録制)

② なごやか営農グループ (組合員組織)



☆酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務 (作業) に出役頂ける
56 歳以上 65 歳未満の男子及び 20 歳以上 65 歳未満の女子

③ すこやか営農グループ (組合員組織) ~酒人老人会のメンバー



☆シルバー世代の酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務 (作業)
の一部を担当頂くグループ

④ やすらぎ営農グループ (ボランティア) ~酒人敬老会の大関・横綱グループ

☆囲炉裏端会議のメンバーで、雑草取りの名人

【表紙の解説】



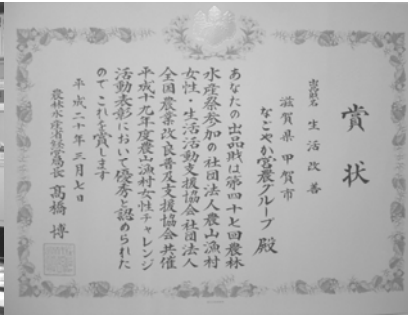
通常総会（昨年度）



柏木地区基盤整備事業完成



酒人田園環境愛護会（看板）



なごやか 営農グループ



すこやか 営農グループ



オペレーター（草刈り）



オペレーター



酒人田園環境愛護会（水路清掃）



なごやか（とうもろこし）



オペレーター（ブルーベリー）



オペレーター（田植え）



農事組合法人 酒人ふあ〜む

2009/3/1